



2020年5月22日

各位

会社名 株式会社 T B K  
代表者名 代表取締役社長 岸 高明  
(コード番号 7277 東証第1部)  
問合せ先 執行役員経営企画部長 倉村 雅彦  
(TEL 042-739-1473)

## 減損損失の計上および2020年3月期連結業績予想と実績値 との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期の連結決算におきまして減損損失を計上したこと、および2019年11月11日に公表いたしました連結業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上について

当社および連結子会社が保有する主に設備を対象とした固定資産について、足元の新型コロナウイルス感染拡大の影響も含んだ将来の回収可能性を慎重に検討した結果、収益性の低下が見られたため、2020年3月期において合計3,632百万円の減損損失を計上いたしました。その主な内訳は、当社TBK 3,457百万円、連結子会社であるTBK America, Inc. 141百万円であります。

#### 2. 連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2020年3月期 連結業績予想値と実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 52,000	百万円 900	百万円 800	百万円 500	円 銭 17.05
実績値 (B)	51,340	1,261	944	△3,116	△107.10
増減額 (B-A)	△659	361	144	△3,616	—
増減率 (%)	△1.3	40.2	18.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	53,637	1,507	1,554	1,029	35.09

#### (2) 差異の理由

売上高は、期末にかけて新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり想定よりやや下振れしたものの、営業利益および経常利益につきましては、グループ各社における費用抑制の徹底、原価低減・生産合理化の努力により前回発表予想を上回る結果となりました。しかしながら、減損損失3,632百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失が3,116百万円となり前回発表予想を大きく下回る結果となりました。

(3) 役員報酬の減額について

今般の減損損失の計上に伴う業績の内容および当社がおかれている厳しい現状を真摯に受け止め、執行役員以上の役員について、役員賞与を支給しないこととし、以下のとおり役員報酬の減額を行うことといたしました。

(ア) 役員報酬減額内容

代表取締役社長	月額報酬の 30%減額
取締役常務執行役員	月額報酬の 25%減額
取締役執行役員	月額報酬の 20%減額
常務執行役員	月額報酬の 20%減額
執行役員	月額報酬の 15%減額

(イ) 対象期間

2020年4月より6月までの3か月間の予定

以 上